

風立ちぬ

= 各種大会報告 =



令和4年4月1日~5月10日

【卓球】田川地区春季卓球大会(斎藤清杯) 女子団体 第3位

【陸上】第58回山形県通信陸上競技大会(鶴岡地区大会) 男子中学200m 第2位 □□□□

【バドミントン】田川地区春季バドミントン大会 男子団体 第3位 女子団体 第1位

女子シングルス 第1位:□□□□ 第3位:□□□□ 第8位:□□□□

【バレーボール】第72回西川杯中学校バレーボール大会 女子:立川中学校・羽黒中学校合同チーム 第3位

【駅伝】田川地区中学校駅伝競争大会 男子:第7位 女子:第9位

野球クラブ、バスケットボールクラブも大会に出場し、技を競い合いました。

がんばりました!



成績は結果であって目的ではない

校外でも

これが立中生
校内でも

コロナ禍にありながら駅伝大会に向け、どの学校も毎日努力を重ねてきたことと思います。

大会がある度に、以前勤務していた学校の生徒が、運動会総括の場で話したことを思い出します。『良い結果が得られず、みんな無駄でした。朝早く練習したことも、夕方遅くまで練習したのも全部報われませんでした。・・・練習した時間で勉強すればよかった』と目に涙を浮かべ悔しがりました。

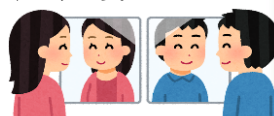
勝負は何があるかわからない。だから面白くもあり、不安でもあります。

だからこそ一生懸命練習するので。目指した結果が得られないからといって、「練習が無駄であった」なんていうことはない! 優勝した者(チーム)だけがすばらしいのか? 決してそんなことはない。

粘り強く頑張る根性、みんなで協力する精神、健康な体、そして懸命に頑張っても努力しても自分より能力や技術の優れた人がいることを自覚し、今までの自分の向き合い方に納得するので。

毎年6月の地区総体では、3年生が最高の表情や力を見せてくれます。「最後」を意識し、精一杯練習に取り組んできたからでしょう。そして部活動を通して培った力を、その後の学校生活で発揮してくれます。今年の3年生は、どのようなドラマを創り上げてくれるか、今から楽しみです。

部活動、学習においてどんな結果が出るかはわからない。よい成績は結果であって、目的ではないのです。プロセス(過程)を大事に、「どんな自分になりたいか」と向き合って下さい。



5/6生徒総会議案書審議→5/26生徒総会

= 生徒会スローガン「ACT」(自分で行動する) =

A: 「あいさつ」

C: 「挑戦」

T: 「つながり」

生徒会長は、『「ACT」とは自分で行動すること。考えていることを行動に移すことで様々な目標を達成したり、課題を解決できるのだ。また、生活の中で、一緒に行動しようとしてくれる仲間、活躍を見届けてくれる仲間、それを受けて成長につなげようとする仲間がいるからこそ互いに高まり合えるのだ。』と力説しました。

生徒たちはその姿に理解を示し、賛成しておりました。



「生徒会ステージ制」を提案



期間	ステージ目標	設定理由
4/15 ~ 6/2	興動	新しい年度がスタートし、何事にも 興 味をもって行動して欲しいと考えた。
6/3 ~ 6/29	向動	勉強、運動など自分の目標に 向 かって一生懸命行動して欲しいと考えた。
6/30 ~ 7/28	煌動	運動会練習から本番まで全員が 煌 めくように全力で行動して欲しいと考えた。
8/26 ~ 9/28	康動	2学期が始まり、 健 康に気をつけて行動して欲しいと考えた。
9/29 ~ 11/17	光動	文化祭に向けて、一人ひとりが 光 輝くように行動して欲しいと考えた。
11/18 ~ 12/14	考動	1年間の後半に入り、今までの自分を振り返り、今後の生活について 考 えて行動して欲しいと考えた。
12/15 ~ 1/30	高動	進級へ向けて更なる 高 みを目指して行動して欲しいと考えた。
1/31~最後	幸動	立中生が、この1年最後までやりきったという 幸 せな気持ちで良い締め括りが出来るような行動をして欲しいと考えた。

「ACT」~「こう動」

以前、自分の歩んできた人生の失敗に気づき、タイムスリップしてそれを変えていくというドラマがありました。自分の誤った選択を悔い、思い通りに歩めるようにやり直すというわけです。そんなことは不可能なのですが、人間、誰でも思うところがあり、つい見てしまいました。「あの時、こうしておけば良かった」と思ったことのある人がほとんどだと思いますが、後悔を減らすにはどうしたらよいのでしょうか？

人生で、『出逢い』は不可欠です。どんな人(物・事)と出会い、かかわりの中で、どう行動してきたか。「縁」とは不思議なもので、私たちは出会うべきものとして、立川中に集い、学校生活を送っています。そして、時にその出会いに振り回されて、思い描いていた事とは違う事になっている自分に気づくこともあります。しかし、それは自分が選択したことで、誰のせいでもなく自分のせいです。ですから、選択を迫られたとき、どう対応するかがカギとなってきます。運の良いことに、私たちは先輩達が築いてきた立川中の伝統のもと、校訓に象徴される「人間としての在り方」を学んでいます。立中で出会った「夢は大きく 志は高く 為せば成る」を意識し行動することで、物事に対し前向きに取り組めると思い、確かな人生を歩んでいけるものと信じています。ただし、人間一人では弱さが出てしまいます。そんな時こそ「みんなで」です。生徒会リーダーが提案した「こう動」をみんなで取り組むことで、コロナ禍であっても充実した一年になるのだと私は考えます。

